

1 (柱01)一人一人に応じた最適な学びを提供する

成長の基盤となる資質・能力の育成(確かな学力の育成)

ICT活用推進事業費(45,542千円)

- (1)長崎県立学校ICT教育支援センターの整備
- ・1人1台パソコン等の活用促進を図るため、端末やOSの不具合や、各種アプリケーションの活用法等に関する学校・教職員からの相談に対応する窓口を設置
 - ・端末やOSの不具合等に対応するスタッフを学校に派遣
- (2)授業目的公衆送信補償金
- 学校の設置者が管理団体に補償金を支払うことにより、教員が他人の著作物を用いて作成した教材を生徒の端末に送信したり、サーバにアップロードしたりすることなど、遠隔合同授業以外での公衆送信についても無許諾で行うことができ、著作権の保護と著作物の円滑な利用促進につなげる。

教育の情報化を推進するための研修等

- (1)教員研修等の実施
- 各教科におけるICTを活用した指導力を高めるための研修会の実施
 - 1人1台端末における各種アプリケーションの活用スキル等を高めるためのオンデマンド型研修の実施
 - 各学校における情報モラル教育の体系的な実施を推進するための研修会の実施
 - 高等学校における共通教科情報科「情報」に関する研修の実施
 - 高等学校におけるオンライン教育推進のためのスキルアップ研修の実施
- (2)クラウドサービス等の活用促進
- クラウドを活用した各種アプリケーションの活用マニュアルや、教員のスキルアップを図るための研修資料の活用
 - クラウドを活用したエドテック(EdTech)サービスに関する最新の情報の提供
- (3)ICT教育を推進するための広報の充実
- ICT通信の発行
 - 遠隔授業等の取組を発信するホームページの開設・運営

【教育DX推進室】

「ながさきの魅力を心と記憶に刻む」「人と産業に出会う」ふるさと教育の推進

【(拡)NEXT長崎人材育成事業費【再掲】】

(事業期間：令和6年度～)

アプリ開発講座を通じた教科等横断的な学び
大学や企業等と連携し、地域課題をデジタル(アプリ)で解決する手法や考え方を学ぶ
アプリ開発講座やコンテストを実施。

【(新)空飛ぶ未来を拓くドローンワールドプロジェクト費【再掲】】

(事業期間：令和6年度～)

- ドローン入門講座
- 目的：高校生のドローンに触れる・学ぶ機会を創出し、関心を高める。
 - 内容：ドローンの製作やプログラミング、操縦等の基本を学ぶ県教委主催の集合研修
 - 対象：県内高校生(希望制)

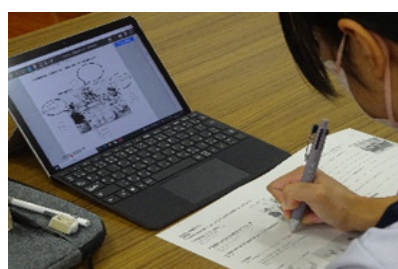
遠隔教育センターを中心とした教育DXの推進

【(拡)長崎県遠隔教育センター(仮称)開設準備事業費(20,553千円)】

(事業期間：令和5年度～)

- (1) Web会議システム等のICTを活用することで、小規模高校等の生徒に対し、興味・関心や進路希望等に応じた多様な学びや、企業や大学等の外部機関と連携した探究的な学びを提供するため、長崎県教育センター(大村市)内に「長崎県遠隔教育センター(仮称)」を開設する準備を進める。

遠隔教育センターから小規模高校等に授業を配信するための施設や機器等の整備
生徒の進路希望や習熟度に応じた講座等の配信
外部人材等を活用した探究的な学びやキャリア教育等に関する配信やコンテンツの開発と配信
遠隔授業を円滑に実施するためのマニュアル等の開発



離島の小規模高校における遠隔授業の様子

- (2) 遠隔授業等を活用した、学びの機会の充実のためのネットワークの構築
遠隔授業やICTを活用した教育方法の充実により、学校間で連携して生徒の学びを充実させるためのネットワークを構築することを目指す。

2 (柱02)新しい時代に求められる魅力ある学校をつくる

子どもたちのために教員が輝く「働きがい」改革

(新)教員のなり手不足解消プロジェクト費【再掲】

(事業期間：令和6年度～)

深刻な教員のなり手不足の最大の要因である教員の業務負担軽減を図り、社会に広がるブラックなイメージを払拭するとともに、優秀な人材を確保することにより子どもたちへのより良い教育を実現する。

県立高校・県立中学校へのデジタル採点システムの導入

教員のテスト採点業務等の効率化を図るため、全ての県立高校・県立中学校にデジタル採点システムを導入